

**PAT-NO:** JP406197848A  
**DOCUMENT-IDENTIFIER:** JP 06197848 A  
**TITLE:** METHOD FOR STERILIZING TOILET SEAT SURFACE

**PUBN-DATE:** July 19, 1994

**INVENTOR-INFORMATION:**

NAME	COUNTRY
TANAKA, TSUYOSHI	

**ASSIGNEE-INFORMATION:**

NAME	COUNTRY
TANAKA TSUYOSHI	N/A

**APPL-NO:** JP04362088  
**APPL-DATE:** December 29, 1992

**INT-CL (IPC):** A47 K 013/30

**US-CL-CURRENT:** 4/233 , 4/DIG.9

**ABSTRACT:**

**PURPOSE:** To effect sanitary control of a toilet seat surface by providing a bactericidal lamp near a toilet seat, and irradiating the toilet seat surface with rays of light from the bactericidal lamp.

**CONSTITUTION:** When a bactericidal lamp 2 is provided to a toilet seat lid 3, the bactericidal lamp 2 is turned on with the toilet seat lid 3 closed to provide strong bactericidal effects on the surface of a toilet seat 1 and the inner surface of a toilet main body 4. The rays of light from the bactericidal lamp 2 are prevented from leaking outside for safety. The bactericidal lamp 2 may be provided to the toilet seat 1 or the toilet main body 4. The bactericidal lamp 2 may be moved opposite to the surface of the toilet seat 1. Thus the light has bactericidal effects depending on its wavelength band and various kinds of bactericidal lamps have a variety of applications. **Ultraviolet** bactericidal lamps that produce **ultraviolet** rays have particularly high bactericidal effects and therefore suitable for the sanitary control of public **toilet seat** surfaces.

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-197848

(43)公開日 平成6年(1994)7月19日

(51)Int.Cl.<sup>5</sup>

A 4 7 K 13/30

識別記号

Z

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数1(全 2 頁)

(21)出願番号 特願平4-362088

(22)出願日 平成4年(1992)12月29日

(71)出願人 591118683

田中 ▲強▼

東京都羽村市神明台2丁目4番地の1 サ  
ンマンション羽村104

(72)発明者 田中 強

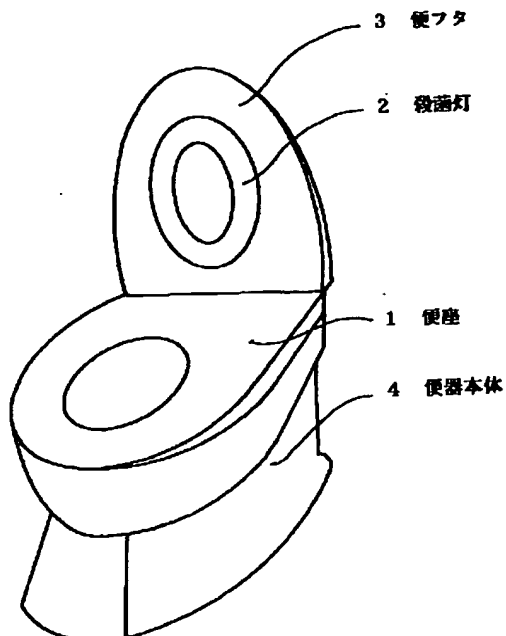
東京都羽村市神明台2丁目4番地の1 サ  
ンマンション羽村104

(54)【発明の名称】 便座面の殺菌方法

(57)【要約】

〔目的〕 薬剤を使用せずに、簡単にかつ安全に便座面  
の殺菌ができる便座面の殺菌方法を提供する。

〔構成〕 便座(1)近傍に殺菌灯(2)を設け、便座  
面に殺菌灯(2)の光線を照射することを特徴とする。



1

2

## 【特許請求の範囲】

〔請求項1〕 便座面の殺菌において、便座（1）近傍に殺菌灯（2）を設け、便座面に殺菌灯（2）の光線を照射することを特徴とする便座面の殺菌方法。

## 【発明の詳細な説明】

[0001]

〔産業上の利用分野〕本発明は、便座面の殺菌に、殺菌灯を用いた便座面の殺菌方法に関するものである。

[0002]

〔従来の技術〕便座面は細菌で汚染されやすく、薬剤による殺菌消毒が定期的になされている。特に、多数が使用する公衆トイレにおいては便座面の衛生管理が強く、

[0003]

〔発明が解決しようとする課題〕本発明は、上記の課題を解決し、便座面の衛生管理をすすめる目的からなされたものである。

[0004]

〔課題を解決するための手段〕便座（1）近傍に殺菌灯（2）を設け、便座面に殺菌灯（2）の光線を照射することを特徴とする便座面の殺菌方法。

[0005]

〔作用〕光は波長帯によって殺菌効果があることから、各種の殺菌灯がさまざまな分野で使用されている。特に、紫外線を発生する紫外線殺菌灯は殺菌効果が高く、殺菌灯として幅広く利用されている。本発明はこの殺菌

力に着眼してなされたものである。

[0006]

〔実施例〕第1図は、便フタ（3）に殺菌灯（2）を設けた本発明の斜視図である。便フタ（3）を閉じた状態で殺菌灯（2）を点灯させると、便座（1）面および便器本体（4）内面で強い殺菌効果が得られる。また、殺菌灯（2）の光線が外部に漏れることがないので安全である。尚、本発明の他の実施例としては、殺菌灯（2）を便座（1）に設ける、あるいは殺菌灯（2）を便器本体（4）に設けることもできる。また、第2図に示すように、便座（1）面に対面して殺菌灯（1）を移動させてもよい。

[0007]

〔発明の効果〕本発明は、薬剤を使用せずに、便座面の殺菌が使用毎にできることや取り扱いが簡単で、安全性が高い特長があり、便座面の衛生管理がのぞまれる今日、極めて有効なものである。

## 【図面の簡単な説明】

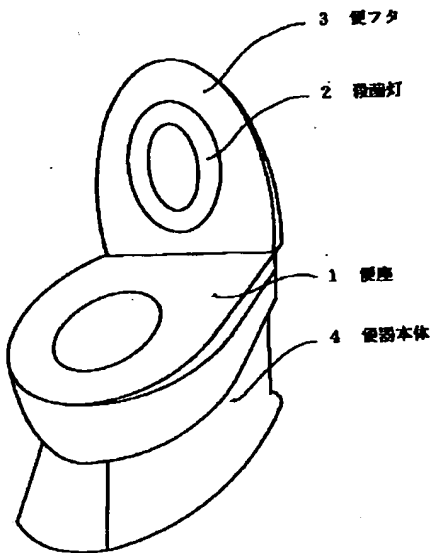
〔図1〕本発明の斜視図である。

〔図2〕本発明の他の実施例を示す斜視図である。

## 【符号の説明】

- 1 便座
- 2 殺菌灯
- 3 便フタ
- 4 便器本体

【図1】



【図2】

